



たてやま議会だより



●平成26年8月号 ●No.106 ●発行／館山市議会 ●〒294-8601館山市北条1145-1 ●電話0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



認知症サポーター養成講座の様子

平成26年6月定例市議会

**館山市市税条例の一部を改正する
条例の専決処分の承認などを議決**

平成26年第1回臨時市議会（5月26日開催）

一般会計補正予算を議決

6月定例市議会は、6月5日から26日までの会期22日間にあわせて開かれ、市長から提案された15議案が、いずれも原案どおり可決されました。

また、高速道路通行料金の割引制度の拡大を求める意見書など4議案が議会から提出され、いずれも原案どおり可決されました。

6月定例会において、会議初日（6月5日）は、会期を22日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明を行った後、先決議案の審査を行いました。

6月10日から11日は、11人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをいただきました。

6月16日は、各議案について質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託し、その後、専決処分の承認の審議を行いました。

最終日（6月26日）は、各

委員会における審査の経過及び結果について、委員会の報告をした後、質疑、討論、採決を行いました。
続いて、追加議案の審議及び議会提出の議案の審議を行い、閉会しました。

主な内容

- ★議案の概要と委員会審査 2～5頁
- ★一般質問 6～11頁
- ★議決結果 12頁

新副議長の紹介

第58代副議長に

秋山 貴 議員



鈴木正一副議長の辞職に伴う副議長選挙の結果、秋山貴議員が副議長に当選しました。

秋山貴副議長は、当選後の挨拶で「第58代副議長に選任を受けて光栄に思います。

この後は議長を補佐し、館山市及び館山市議会の発展のため勇猛精進してまいります。」と述べました。

議会構成の一部を変更

副議長辞職に伴う副議長選挙及び組合議会議員の補欠選挙並びに任期満了に伴う常任委員会委員及び議会運営委員会委員の改選などが最終日に行われ、新しい議会構成は次のとおりになりました。

また、秋山貴議員が副議長になったこと等に伴い、公有地有効活用等調査特別委員会の委員に鈴木正一議員が、三芳水道企業団議会議員に太田浩議員がそれぞれ選任されました。

議長 本橋 亮一
副議長 秋山 貴

各委員会 委員等の紹介

(○委員長、○副委員長)

総務委員会委員 (6人)

◎太田 浩 ○石井 敬之
石井 敏宏 本多 成年
三澤 智 福岡 信治

文教民生委員会委員 (6人)

◎瀬能 孝夫 ○鈴木 正一
森 正一 秋山 貴
吉田 恵年 鈴木 順子

建設経済委員会委員 (6人)

◎望月 昇 ○榎本 祐三
龍崎 滋 石井 信重
内藤 欽次 本橋 亮一

議会運営委員会委員 (9人)

◎石井 信重 ○龍崎 滋
石井 敏宏 望月 昇
石井 敬之 太田 浩
内藤 欽次 福岡 信治
吉田 恵年

館山湾整備調査等特別委員会委員 (8人)

◎本多 成年 ○森 正一
瀬能 孝夫 太田 浩
石井 信重 三澤 智
榎本 祐三 吉田 恵年

公有地有効活用等調査特別委員会委員 (8人)

◎鈴木 正一 ○福岡 信治
石井 敏宏 望月 昇
石井 敬之 龍崎 滋
内藤 欽次 鈴木 順子

議会改革特別委員会 (9人)

◎榎本 祐三 ○秋山 貴
石井 敏宏 瀬能 孝夫
望月 昇 石井 信重
本多 成年 三澤 智
鈴木 順子

三芳水道企業団議会議員 (5人)

◎太田 浩 龍崎 滋
石井 信重 本多 成年
内藤 欽次

議案の概要と委員会審査

6月定例会に提案された議案を紹介します。

議案第25号 館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分

例の一部を改正する条例の専決処分について、地方税法等の一部を改正する法律が成立、公布されたことから、館山市市税条例を改正する必要が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

議案第26号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分

の理由により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

議案第27号 館山市市税条例等の一部を改正する条例の制定

改正に伴い、館山市市税条例を改正する必要が生じたため、同条例の一部を改正しようとするもの。

総務委員会の審査

(委員長 龍崎 滋議員)

軽自動車税の税率の引き上げということだが、引き上げによる軽自動車税の増額はいくらかと聞いたところ、試算では原動機付自転車や2輪の軽自動車、2輪の小型自動車に係る増額分で約530万円になる、との説明がありました。

議案第28号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

25年度決算見込における収納率の向上により繰越金が増額となり、国民健康保険財政調整基金の残高が増加していることから、医療給付費分の所得割額の税率を100分の7・95から100分の7・8に引き下げようとするもの。

総務委員会の審査

今回の改正は所得割の引き下げだが、均等割及び平等割の引き下げについて聞いたところ、今回は応能割、応益割を踏まえた国保会計の総合的な観点から均等割及び平等割



第2分団第4部詰所の様子

議案第29号 財産の無償譲渡について 館山市消防団第2分団第4部詰所を地域コミュニティ活動の拠点施設として、寺赤区に無償譲渡しようとするもの。

総務委員会の審査
当該建物を譲渡した後の当該建物の管理について聞いたところ、譲渡後は譲渡の相手方である寺赤区が管理することになる、との説明がありました。

議案第30号 損害賠償の額の決定及び和解について 平成26年3月20日、館山市コミュニティセンター敷地内において、千葉県から借用していた地震体験車を走行中に、構内道路南側に設置された高さ制限ゲートに接触し、車両前部を破損させた事故について、損害賠償に係る協議が終了したため、その額の決定及び和解について地方自治法の規定により、議会の議決を求めようとするもの。

の引き下げはしないとの説明がありました。

また、今回の引き下げによる影響額について聞いたところ、平成25年度本算定の調定額と対比して平均で一世帯当たり約8千円の減額である、との説明がありました。

議案第31号 館山市企業立地及び雇用の促進に関する条例の一部を改正する条例の制定について 企業の進出方法の多様化に合わせ、一層柔軟

議案第32号 工事委託協定の締結について 鏡ヶ浦クリーンセンター長寿命化対策工事を2億8300万円をもって地方共同法人日本下水道事業団に委託するための協定を締結しようとするもの。

建設経済委員会の審査
委託協定の金額2億8300万円の財源内訳について聞いたところ、社会整備総合交付金で事業を実施し、国が10分の5・5で、残りの部分と補助事業になじまない部分

議案第33号 平成26年度館山市一般会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ1億6919万8千円を追加し、総額1億81億7187万8千円としようとするもの。

主要事項として、戸籍電算事業、国民健康保険特別会計繰出金、公立保育園耐震診断事業、コミュニティ医療推進活動支援補助金、コミュニティ医療推進基金積立金、生

な対応により企業の進出を支援するため、新設に対する立地奨励金を受けることができると企業との範囲を拡大するとともに雇用奨励金の対象となる新規雇用雇用者の雇用開始期間を拡大しようとするもの。

建設経済委員会の審査
(委員長 石井敬之議員)
立地奨励金はいくらになるかと聞いたところ、制度的には納付された固定資産税、都市計画税のうち、事業の用に供する資産について該当するものが対象になる。

したがって現段階では具体的な数字はない、との説明がありました。

議案第34号 平成26年度戸籍電算事業に係る契約のためのプロポーザルに応募した者の数について聞いたところ、応募した者は富士ゼロックスシステムサービス株式会社1社のみであった、との説

分は市の負担になるとの説明がありました。

また、施設の未稼働部分については長寿命化対策工事の対象としなくて良いのかと聞いたところ、機械等の設備は設置されていないので対象としない、との説明がありました。

野川ダム農業用施設整備事業補助金、地域経済活性化対策事業補助金、観光地魅力アップ整備事業補助金、観光プロモーション活動推進事業資金貸付金、小学校耐震改修事業、幼稚園耐震改修事業など。



鏡ヶ浦クリーンセンターの様子

平成26年度一般会計・特別会計補正予算		
会計名	補正額	予算現額
一般会計	1億6919万8千円	181億7187万8千円
特別会計	国民健康保険	1億7928万6千円
	後期高齢者医療	0千円
	介護保険	0千円
	下水道事業	0千円
合計	3億4848万4千円	320億6499万3千円

総務委員会の審査

戸籍電算事業に係る契約のためのプロポーザルに応募した者の数について聞いたところ、応募した者は富士ゼロックスシステムサービス株式会社1社のみであった、との説

明がありました。

幼稚園耐震改修事業について地方交付税措置があるかと聞いたところ、北条幼稚園新園舎建設事業の設計委託料は起債の対象事業であり、充当率が100パーセントで、70パーセントが交付税措置されとの説明がありました。

北条幼稚園新園舎建設工事のタイムスケジュールについて聞いたところ、平成26年度に設計、平成27年度に工事を実施して、平成28年度に供用開始の予定である、との説明がありました。

建築技術補助員謝礼金について聞いたところ、施設の耐震改修に係る業務量の増加による職員不足を補い、建築工事に関する業務の円滑な執行を図るためのものである、との説明がありました。

議案第34号 平成26年度館山市一般会計補正予算（第3号） Ⅱ債務負担行為の期間を変更しようとするもの。

議案第35号 平成26年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） Ⅱ歳入歳出それぞれ1億7928万6千

円を追加し、総額72億4993万6千円としようとするものの。

主要事項として、一般被保険者療養給付費、退職被保険者等療養給付費、一般被保険者高額療養費、退職被保険者等高額療養費、財政調整基金積立金、過年度療養給付費等負担金返還金など。

文教民生委員会の審査（委員長 本多成年議員）

一般被保険者高額療養費の一件あたりの金額について聞いたところ、高額療養費の合計額を件数で割り返した平均は、およそ6万円である、との説明がありました。

国民健康保険税の税額はどこ、平成25年度本算定の調定額と比較して、一世帯あたり約8千円下がる見込みである、との説明がありました。

財政調整基金積立金について、積立金の保有額は、運営上、すでに十分な額に達していると思うが、いくらまで積み立てる見通しなのか聞いたところ、今後の医療費の増加と被保険者の減少、また国民健康保険が都道府県化される予定であることから、4億円から

5億円は必要だろうと考えている、との説明がありました。また、剰余金が出たのは、市民の健康維持の努力の成果であるから、もう少し市民に還元してはどうか聞いたところ、将来の見通しなど様々なことを考慮した上での議案提出であるので、御理解いただきたい、との説明がありました。

今回、国民健康保険税の税率を下げたことについて、今後も継続できる見込みなのか聞いたところ、少なくとも平成28年度までの三ヶ年はこの税率の維持に努めていきたいと考えている、との説明がありました。

国民健康保険税の一世帯あたりの年間納税額について、近隣市の中では館山市が一番安くなるのか聞いたところ、平成26年度の時点での、税率面での比較で言えば、安いという状況になっている、との説明がありました。

【追加議案】

議案第36号 工事請負契約の締結について Ⅱ北条小学校耐震改修工事（第3期分）に

係る制限付一般競争入札の結果、株式会社石井工務店が3億240万円をもって落札したので、同社と工事請負契約を締結しようとするもの。

議案第37号 工事請負契約の締結について Ⅱ館山小学校北棟及び体育館耐震改修工事に係る制限付一般競争入札の結果、白幡興業株式会社が3億1050万円をもって落札したので、同社と工事請負契約を締結しようとするもの。



耐震改修予定の北条小学校低学年棟

議案第38号 人権擁護委員候補者の推薦について Ⅱ人権擁護委員が任期満了になるので、人権擁護委員法の規定により、新たに鈴木照夫さんを推薦しようとするもの。

議案第39号 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について Ⅱ固定資産評価審査委員が任期満了となるので、引き続き、西村芳明さんを選任しようとするもの。

固定資産評価審査委員会とは

固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査するために、法に基づき市町村に固定資産評価審査委員会が設置されています。

これは、固定資産税の課税のより一層の適正公平を期する観点から、他の税とは違い中立的・独立的な機関に審査を行わせるものです。

【議会提案議案】

発議案第2号 高速道路通行料金の割引制度の拡大を求める意見書について Ⅱ地域経済停滞への懸念を払拭し、継続的な景気の回復を図るため、高速道路通行のETC装着車に対する割引制度の復活等、国策による高速道路通行

料金の割引制度の拡大について特段の配慮をお願いするもの。

発議案第3号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について Ⅱ請願第10号の趣旨による。

発議案第4号 国における平成27年度教育予算拡充に関する意見書について Ⅱ請願第11号の趣旨による。

発議案第5号 農業委員会委員の推薦について Ⅱ任期満了となる議会が推薦する農業委員会委員について、鈴木順子さん、川名初江さんを最適任者と認め、推薦しようとするもの。

意見書提出

3件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

高速道路通行料金の割引制度の拡大を求める意見書

高速道路通行のETC装着車に対する割引制度の復活等、国策による高速道路通行

料金の割引制度の拡大について、国に特段の配慮をお願いするもの。

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう要望するもの。

国における平成27年度教育予算拡充に関する意見書

国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境の整備促進等のため、平成27年度教育予算を確保するよう要望するもの。

5月臨時会に提案された議案を紹介します。

議案第24号 平成26年度館山市一般会計補正予算（第1号） Ⅱ歳入歳出それぞれ1億4668万円を追加し、総額180億268万円としようとするもの。主要事項として「渚の駅 たてやま」受電設備改修工事、小学校耐震改修事業、幼稚園耐震改修事業。

議会改革特別委員会の状況

館山市議会では、昨年9月の議会改革特別委員会の設置以来、議長・副議長出席のもと、毎月特別委員会を開催し、議会基本条例の制定に取り組んできましたが、このたび条例の素案が完成しました。

今後は、委員外議員の意見も聴取するとともに、素案全体の見直しを行い、議会基本条例（案）を作成し、議会HPに掲載して市民の御意見をいただく予定です。

10月にはこの条例に関する市民説明会（意見聴取）を実施し、市民の皆様のご意見も参考に最終案を作成して、12



建設中の「渚の駅」たてやま商業施設棟

表彰状の伝達

月議会での制定を目指しております。

全国市議会議長会から、福岡信治議員、吉田恵年議員が議員在職15年の永年勤続として表彰され、議会招集日に議場において表彰状の伝達が行われました。



議員の視察

平成26年5月22日に、UMCジャパン(株)を引き継いだマッハコーポレーション(株)の

議員視察を実施しました。マッハコーポレーション(株)の説明によれば、今後工場内の設備等を整備し、今年中の操業開始を目指したいとのことでした。

2014年版 市政概要の販売

市の各種事業や統計資料を盛り込んだ「2014年版市政概要」が完成しました。市政概要には、市のあゆみ、予算、決算、各種事業内容などが掲載されており、一部500円で販売しています。ご希望の方は、議会事務局でお求めください。

次の定例会の予定

- 開 会 日
9月 1日(月)午前10時から
- 一般質問
9月 4日(木)、5日(金)
予備日:8日(月)
各日 午前10時から
- 請願・陳情提出締切:
8月22日(金) 正午まで

一般質問

一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、6月10日と11日の2日間にわたり、次の11名の議員が行いました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

	望 月 昇 ①沖ノ島を取り巻く諸問題(駐車スペースと大渋滞 、仮設トイレ、ごみを中心とした美化運動、食事やキャンプ) ②館山駅前駐輪場(JR館山駅前・館山市の玄関口としての駐輪場の現状、利用者アンケート、有料化の可否) ③スクールバス等通学費の無料化(子育て支援の考え 、小中一体化での見直し)
	石 井 敏 宏 ①市内の救急体制(市内での救急受け入れ態勢の充実 、救急車の台数と人員) ② 高齢者など交通弱者への対応 ③自治基本条例(自治基本条例の制定、現状の取り組み) ④市長退職金(金額、廃止または減額)
	三 澤 智 ①船形バイパス(現在の進捗状況、今年度の事業内容) ②漁業の振興(船形漁港の観光面での有効活用 、船形海岸の栽培漁業での利活用) ③子育て支援事業(元気な広場と出張子育てひろば 、房南こども園等の現況) ④これからの観光PR(観光振興費の現状、広域連携の現状)
	石 井 信 重 ① 任期満了に伴う市長選挙について ②学校のアレルギー疾患に対する取り組み(疾患への認識と対応、給食における対応、学校・保護者・医療機関等との連携) ③健康で元気に住み慣れた地域で暮らせるまちづくり(特定健診等の施策 、地域における包括的な医療システム等の構築)
	内 藤 欽 次 ①医療介護総合法(市の考え方、 要支援1・2の人のサービスが市に移行された場合の対応) ②船形バイパス(建設にかかる費用、完成後の所有・管理) ③特別養護老人ホームの建設(入所待機者の対策 、新たな施設の建設) ④就学援助制度(援助金の増額、認定基準)
	森 正 一 ①いじめゼロへ向けて(地方いじめ防止基本方針等の策定の進捗状況 、いじめ防止条例の制定) ②原発事故避難住民の移住政策(移住政策の現状と今後の動向、館山市への移住) ③ 人口減少問題 ④津波対策 ⑤複合庁舎の建設
	鈴 木 順 子 ①医療・介護法改正による取り組み(国保データシステム、 認知と思われる方の行方不明情報とその後の対応 、地域包括支援センターとの連携) ②雇用・労働対策(現在の雇用状況と今後の取り組み 、非正規労働者への対応)
	龍 崎 滋 ①国道及び市道の整備(国道128号線の整備計画、 市道8038号線の整備計画)、土曜日教育の推進(館山市の考え 、地域の教育支援体制強化の取り組み) ②学校給食における食物アレルギー対策(学校給食における対策、発症時の緊急対応)
	瀬 能 孝 夫 ① 幼小中学校の入学式・卒業式の曜日設定 ②災害時の公共施設の飲料水及び生活用水の確保(井戸水をろ過して活用する取り組み、災害用給水施設の活用) ③観光振興(外国人観光客を対象とした計画等、 既存の観光資源と新たな開拓 、ニューツーリズムの推進)
	秋 山 貴 ①防災・減災政策及び具体的な施策(タイムスケジュール、消防団の装備基準) ②学校給食センターの施設整備事業(基本設計のコンセプト 、財政計画) ③館山駅東口駅前広場改修事業(基本コンセプトと総合計画等との整合性 、バスターミナル機能) ④日本創生会議試算の2040年問題を踏まえての対策事業(館山市の対策、平成27年4月に始まる保育・幼児教育の新制度による受益者負担)
	榎 本 祐 三 ① 進出企業に対する支援 ②遊休耕作地対策(実態調査の結果、活用と改善、原発被災者の受け入れ) ③一般廃棄物処理基本計画(年間処理経費 、問題点と課題)

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、8月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

主な質問と答弁

産業振興・観光振興

◆沖ノ島の駐車スペースと大渋滞は？

問 沖ノ島の駐車スペースと大渋滞について問う。

答 近年、マスコミで紹介されたこともあり、非常に多くの観光客が訪れるようになりました。特に、夏の海水浴場開設期間中は、海水浴客の増加に比例して、車両が増加したことによる周辺道路の渋滞が発生しました。このような状況に対して、今年度は配置する警備員を増強し、路上駐車を防止し、緊急車両の通行が妨げられることがないよう、車両の誘導や整理を実施します。

◆船形漁港の活用は？

問 館山市として、県営船形漁港の観光面での活用をどのように考えているか。

答 平成21年度に策定した「館山湾振興ビジョン」において、戦略プロジェクトの

一つとして船形漁港・船形地区の活性化を取り上げています。

その中では、船形漁港を中核施設として位置付け、北の玄関口の交流拠点として活用することが望ましいとその方向性を示しています。

船形バイパスの完成を見据え、地元の船形では、漁港を中心とした地域の活性化を実現すべく「船形ふれあい産地協議会」を設立し「ふれあい市場」の機能強化や漁港の有効活用等の検討を始めていますので、この協議会を中心に検討を進め、地域としての意見をまとめながら、漁港の利活用について、漁港管理者の千葉県と協議を進めていきたいと考えています。

◆現在の雇用状況と今後の取り組みは？

問 現在の雇用状況及び今後進めなければならない取り組みをどう考えているか。

答 今年4月の県内のハローワーク別の有効求人倍率

では、ハローワーク館山は、1・12倍で、県全体の0・9倍を上回り、千葉に次いで2番目となっています。

館山市では、ハローワーク館山との共同事業、「ジョブサポート館山」などの事業について、今年度は近隣市町と連携するなど、事業の拡充を図っています。

今後は、従業員の定着率が低い、あるいは求人に対して応募が少ないような業種について、求職者を対象とした企業見学会を実施していきたいと考えています。

◆既存の観光資源の開拓と、新たな開拓の可能性は？

問 観光振興のための既存の観光資源の開拓と、新たな開拓の可能性について問う。

答 既存の観光資源の開拓としては、千葉県や千葉県観光物産協会、周辺自治体・観光協会等と連携して、館山市が有する豊かな自然や文化、温泉や食などの観光資源を、首都圏や甲信越・東北方面に向け、適切なタイミングでPRすることにより、観光客の誘客につなげています。



東海汽船橘丸寄港セレモニーの様子

特に、食については、市内4つの飲食店等で組織する「館山新・ご当地グルメ推進協議会」が研究・開発した、オリジナルメニューである「炙り海鮮丼」・「旬な八色丼」・「伊勢海老ステーキ御膳」が、館山で水揚げされる豊富な魚介類などの地場産食材を生かした内容となっており、観光客に好評を得ています。

また、新たな開拓としては、NPOに平砂浦海岸の活用方策の検討を委託し、平砂浦海岸を活用した新たなレジャーの形態を模索しています。

なお、支援の方策については、条例、規則などに則った支援を検討していますが、実施に当たっては、当該企業の財務状況、事業計画、雇用の規模など様々な角度からの検討を行い、支援の必要性を含め、客観的に判断をしていきたいと考えています。

道路計画・都市計画

◆市道8038号線の整備計画は？

問 旧公設卸売市場用地前の市道8038号線は今後、重要な交通アクセスを担うと思うが、整備計画はあるのか

◆進出企業に対する支援は？

問 山本の半導体企業撤退後、新たに進出した企業に対する優遇措置の支援について問う。

(榎本祐三議員)

答 今回のような企業の多様な進出形態に柔軟に対応するため、昨年7月に施行した「館山市企業立地及び雇用の促進に関する条例」の改正案を、本定例会に議案として上程したところです。

また、一昨年、多くの離職者が発生する事態となり、いまだに求職中の方が存在する中で、雇用機会の創出、市財政への影響など公益性という観点を踏まえながら、どのような支援方策が適当なのか、現在、検討を開始しています。

問う。
(龍崎 滋議員)

答 本路線は国道128号
稲交差点を起点とし、旧三芳
村方面に向かう延長約2・1
キロメートル、幅員7メート
ルの2車線道路です。

起点となる稲交差点は、安
房グリーンラインの開通に合
わせて整備する計画となつて
いましたが、変則5差路での
暫定供用となっています。

現在、この変則5差路を解
消するため、県道館山千倉線
の付替え道路として、二子地
内における市道9052号線
の整備を進めています。

このため、市道8038号
線の整備については、稲交差
点の整備完了後、旧公設卸売
市場用地の利活用状況を踏
まえながら、検討していき
たいと考えています。



市道8038号線の様子

◆館山駅東口駅前広場の改修
事業は？

問 改修事業の基本コンセ
プトと総合計画及び基本計画
との整合性について問う。

(秋山 貴議員)

答 館山駅東口駅前広場
は、バス及び一般車両並びに
歩行者が交錯し、接触事故が
発生する危険性があるため、
安全な歩行空間の確保と、車
両の適正な誘導を図ることを
基本コンセプトとしています。

そのため、今年度から策定
を予定している館山駅東口駅
前広場改修計画では、歩道、
一般車両の停車場所、バスの
乗降場所などをどのように
配置するかを検討していきま
す。

ごみ問題・環境対策

◆年間処理経費は？

問 一人当たり年間処理経
費が類似都市平均1万608
円に對して、館山市は
1万4536円と37%ほど高
いが、主な理由はどのような
ことか。
(榎本祐三議員)

答 館山市の人口一人当た
りの年間処理経費についてで
すが、ひとつの要素として、

館山市が広域圏内の中心的存
在であり、昼間人口や買い物
客が多いことに加え、観光客
の流入による観光ごみが発生
するためと考えられます。

なお、類似都市のうち、千
葉県内の市は5市ありますが、
その平均は、1万4527円
となり、本市の処理経費は
おおむね平均値となっていま
す。

また、近隣市町について、
南房総市は、類似都市平均
の1万2246円に對して
1万6095円、鴨川市は、
類似都市平均の1万608円
に對して1万3798円と
なっています。

教育問題・いじめ対策

◆スクールバス等通学費の無
料化は？

問 子育て支援の考えから
スクールバスの無料化につ
いて問う。
(望月 昇議員)

答 子育て支援の考えにつ
いてですが、現在館山市の
行っている遠距離通学支援
は、学校の合併により遠距離
通学となる児童生徒に對する
支援策として講じられたもの
で、当時の交通費負担である

定期代相当分の2分の1を市
が負担するものです。その後、
定期代は大きく上昇していま
すが、保護者の負担する分は
据え置き、差額は全額市が
負担しています。

また、スクールバスに関し
ては、路線バス利用者の負担
との均衡を図るため、利用者
に協力を求めています。

したがって、現在のところ、
文部科学省の通学費の原則自
己負担の考え方、受益者負担
の原則、館山市の財政状況な
どから、通学費の全額を館山
市が負担する考えはありません。

◆子育て支援事業について
は？

問 元氣な広場、出張子育
てひろばの状況について問
う。
(三澤 智議員)

答 「元氣な広場」から離
れた地域の子育て支援の充実
のため、5月15日から船形こ
ども園を会場に「出張子育て
ひろば」が始まりましたが、
初日から地元の方を中心に15
組の親子の利用があり、好調
なスタートとなりました。利
用者からは、「近隣の子育て
情報の交換ができて助かりま

す」というような声を伺って
います。また、「元氣な広場」
は、平成21年4月の開設以来、
5年間で14万人を超える利用
者があり、昨年度実施した子
育て支援に関するアンケート
調査の中でも、「親同士が交
流できる場」などとして大変
好評をいただいています。

今後の「出張子育てひろば」
についてですが、現在、主任
児童委員の皆様が、館山地区
公民館で月1回の「子育てサ
ロンどんぐり」を実施されて
おり、また、神戸地区公民館
でも子育てサークル「神戸ス
マイル」が月1回実施されて
いますので、両団体の地域子
育て支援活動と連携しなが
ら、今後の展開を考えていき
たいと思います。



出張子育てひろばの様子

◆いじめゼロに向けての対策は？

問 「地方いじめ防止基本方針」、市内小中学校における「学校いじめ防止基本方針」などの策定の進捗状況について問う。

(森 正一議員)

答 館山市における基本方針については、「いじめ防止対策推進法」及び「千葉県いじめ防止対策推進条例」の施行を受け、現在、内容を検討しているところです。

また、市内の小中学校における「学校いじめ防止基本方針」については、全小中学校において、平成25年度中に策定しています。

「いじめ防止条例」については法律や県条例、今後策定される県の基本方針の内容に沿った条例の制定を検討しているところです。

◆土曜日教育の推進は？

問 土曜日の教育活動の充実を図り、土曜授業を実施する自治体があるが、館山市ではどのように考えるか問う。

(龍崎 滋議員)

答 学校の週5日制は、子ども達が、家庭や地域社会で主体的に使える時間を増や

し、社会体験、文化・スポーツ活動等、様々な経験をする機会を増やすために導入されたものです。

教育の目的は確かな学力、豊かな心、たくましい体をバランス良く育て、人としての人格を形成していくことと考えています。

館山市においても、子ども達は部活動、スポーツ少年団の活動や地域行事への参加、自然体験、家族との団らんなど、充実した休日を通しています。

そして、豊かな人間性、健やかでたくましい体を育てています。

また、学力向上については、教育委員会も力を入れているところであり、各学校においてもその重要性を認識して創意工夫した教育に取り組んでいますので、現段階においては、土曜授業の実施は考えていません。

◆幼小中学校の入学式、卒業式は？

問 幼小中学校の入学式・卒業式の曜日設定について、保護者が参加しやすい土日に行えないものか問う。

(瀬能孝夫議員)

答 現在、館山市の公立幼稚園及び小中学校においては、平日に開催しています。

館山市では、運動会や授業参観など、多くの保護者が参加する学校行事については保護者の負担を考慮し、土日開催としている場合が多くなっています。

しかしながら、土日に行事を開催する場合は、平日の授業日を振替休日にしなければならず、逆に、共働きの家庭などに負担をかけることになります。

そのため、土日開催の行事については、全校で一斉に行う運動会や授業参観など、必要最低限の行事に限定し、該当学年が限定される入学式・卒業式については平日に開催しています。

現在のところ、入学式・卒業式の土日開催は考えていません。なお、今後土日開催の必要性が高まれば、検討すべき内容であると認識しています。

◆学校給食センターの整備事業は？

問 新設の学校給食センターの整備に当たっての基本

設計コンセプトを問う。

(秋山 貴議員)

答 学校給食センター基本設計のコンセプトについては、現在「館山市新学校給食センター基本計画・基本設計業務委託公募型プロポーザル」の提案事業者を募集しているところです。

また、付加機能についても、災害時における炊き出し機能や食育のための見学機能など、事業提案を受けた中で、本来の目的に支障が生じない範囲で、整備を検討する予定です。



学校給食センターの様子

健康福祉・介護予防

◆市内の救急体制の充実は？

問 館山市内で救急患者を受け入れられずに、他市に搬送する例が多くあるよう

だが、市内での救急受け入れ態勢充実の必要性について問う。

(石井敏宏議員)

答 平成25年の救急搬送実績について、安房郡市消防本部に確認したところ、救急隊による搬送人員の合計3216件のうち1297件が館山市外への搬送となっています。

現在、救急隊の出動は安房郡市消防本部管内を一つの圏域として捉えているため、必ずしも市内の病院に搬送される訳ではありません。

これは、事故の発生場所、けがや疾患の状態などを把握した救急隊員が、ドクターと連携を図りながら、最善の方法を選択し、搬送しているためです。

また、二次救急で対応できない重篤な患者に対し、高度な医療技術を提供する三次救急医療機関である救命救急センターが市外にあるため、市外への搬送が多く発生することはやむを得ないと考えています。

◆高齢者など、交通弱者への対応は？

問 高齢化が進み、今後さらに車を運転できなくなる人

が増え、公共交通の重要性も増していくと思うが、どのような対応を考えているのか。

(石井敏宏議員)

答 高齢になるほど、鉄道やバスといった公共交通に頼らざるを得なくなり、その役割は非常に大きなものになってくると認識しています。

市内の主要道路には、9つのバス路線が存在しています。既存バス路線の全てが赤字で、そのうち7路線が国、県市の補助を受けての運行となっています。館山市としては、路線バスの利用者が増えるよう、喚起を図り、既存バス路線の運行維持に努めていきたいと考えています。

また、鉄道についても、千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じ、災害に強い路線の整備や安全性の向上、運行本数の維持等、利便性向上に関する要望活動を引き続き行っていきたいと考えています。

◆健康で元気に住み慣れた地域で暮らせるまちづくりは？

問 国民健康保険税が下がった要因をどう分析しているのか。

また、健康保険税が下がった要因のひとつとして、7年目を迎える特定健診があると思うが、そこをどう分析しているのか。(石井信重議員)

答 健全な健康保険制度維持のための特定健診等の施策についてですが、国民健康保険税を引き下げた要因はいくつかあります。大きな要因としては、何より市民の皆様健康に対する意識が高まったことだと考えています。

また、御指摘のように、今年で7年目を迎える特定健診により、生活習慣病の予防が進んだことや、長年実施しているがん検診などにより、がんの早期発見、早期治療が進んでいることも医療費の伸びが抑えられた原因のひとつであると考えられます。

これからも、特定健診の重要性を市民にご理解いただき、自分の健康は自らがつくり、自ら守るという理念のもと、ひとりでも多くの方が特定健診等を受診していただくよう努めていきます。

◆医療・介護総合法案については？

問 例えば要支援1、2の

人のサービスが市に移行された場合の対策はどうするのか。

また、介護保険料が2割負担になる場合、市として支援できることはないのか。(内藤欽次議員)

答 要支援者のサービスが、市に移行された場合の対策についても、今まで、要支援認定者が受けていたサービスの質や量が低下しないよう、ボランティアやNPOなどの地域資源の発掘や養成等を含め、福祉関係団体等と連携を図りながら、取り組んでいきます。

また、介護保険の利用者負担が2割になる場合の、市としての支援についてですが、介護保険の利用者負担が高額になった場合、一定額を超えた分については、介護保険法により、「高額介護サービス費」等として、本人に支給されます。したがって、館山市単独での支援は考えていません。

◆特別養護老人ホームの新たな建設は？

問 現在、入所待機者は372人と聞いている。こうした待機者対策について

どう考えているか。

(内藤欽次議員)

答 特別養護老人ホーム等の介護施設の整備については、次期介護保険事業計画において、検討していきます。

館山市としては、高齢者が在宅で生活することができるよう、小規模多機能型居宅介護施設や夜間対応型訪問介護施設、また、本年5月に開設した、サービス付き高齢者向け住宅への入居など、介護施設を柔軟に活用していただき、在宅での生活を支援していきます。



特別養護老人ホームの様子

◆認知と思われる方の行方不明情報は？

問 認知と思われる方の行方不明情報がたびたび防災行政無線を通じて広報される

が、安否確認後の対応はしているのか。(鈴木順子議員)

答 安全・安心メールによる行方不明者の情報については、平成24年度は18件、平成25年度は22件の配信を行っています。

その内、認知症と思われる方は、7割程度と思われます。また、認知症と思われる方の行方不明を防ぐための対応ですが、日頃の活動の中で高齢者と接する機会の多い各種企業・団体の御協力をいただき、さらには、警察、消防等とも連携して、「たてやま高齢者見守りネット」を構築しています。

今後も協力団体や事業所の新規参入に向け、働きかけをしていきます。

また、市民の方々に認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者となつてもらうため、認知症サポーター養成講座を実施するなど、認知症に対する理解を深めていきます。

館山市長選挙

◆金丸謙一市長の立候補は？

問 金丸市長は任期が12月

9日となっているが、立候補するのか。立候補するのであれば、その心情を聞う。

(石井信重議員)

答 私は市民の皆様からの力強いご支援に支えられ、市民の皆様とともに、館山市の発展を目指し、市民の皆様が安全に安心して暮らすことのできるまちづくりのために精一杯奔走してきました。

特に、就任直後から、市財政の立て直しのため、行政改革の推進に全力で取り組んできました。

その結果、一定の再建を果たすことができ、元気な広場や出張子育てひろばの開設、こども医療費の支給拡大、認定こども園の整備、幼、小、中の耐震改修、ASTCトライアスロンアジア選手権誘致等のスポーツ観光の振興、住みたい田舎ランキング2年連続全国総合8位など、各種施策が、順調に、かつ、堅実に進展しています。

今後とも、市民の皆様が『未来に夢と希望と誇り』を持てるよう、『元氣と笑顔が溢れ、市民一人ひとりが輝き、活気みなぎるふるさと館山』の実現を目指し、渾身の力を振り

絞り、全力を尽くしてまいり所存です。

館山市ではまさに今、さまざまな事業が展開され、発展の過渡期にあることから、これを再びゼロから始める暇はなく、それは「館山市にとって大きな損失」と言っても過言ではありません。

そのためにも、市民の皆様の期待に応え、大きな信頼を築くことができるよう、ここに謹んで「来たる平成26年11月執行予定の館山市長選挙に三たび挑戦する決意があること」を表明させていただきま

人口減少問題

◆人口減少問題対策は？

問 民間の政策発信組織「日本創生会議」が2040年に「消滅可能都市」として全国896の自治体を公表した。館山市もその中に含まれており、この試算によると2030代の女性の数が51・2%減少するという恐ろしい数字が出ている。この件について、市長はどのように感じているのか。

答 機械的に算出されたこ

の試算には、このまま何もしないと、そうなってしまうという真実があり、人口減少対策につながる施策を再構築する、大きなきっかけになると考えています。

館山市の人口減少の最大の要因は、若者の大都市圏への流出であり、人口減少に歯止めをかけるために、少子化対策、雇用の創出、移住・定住の促進の3つの施策を柱として、取り組みを行ってきまし

た。これまで取り組んできた子育て支援などの施策により、館山市の平成24年の合計特殊出生率は、1・61と千葉県一になりました。

また、移住・定住の施策も着実に実績を上げつつあり、田舎暮らしの専門誌の特集「住みたい田舎ベストランキング」で、2年続けて総合8位となっていますので、館山市の魅力に、さらに磨きをかけていきたいと考えています。

会議録の検索・閲覧

6月定例会及び委員会の会

議録は、8月中旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

「たてやま議会だより」は、平成20年5月号以降の分については、ホームページで閲覧ができます。

市議会を傍聴しませんか！

傍聴の手続きは、希望する当日に議会事務局（市役所2階）前で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。（館山市のホームページでご覧になれます）

編集後記

6月26日に、副議長の選挙があり、第58代副議長に秋山貴議員が就任しました。

同時に、任期満了に伴い議会運営委員会や常任委員会の委員等も変更となり、今後新しい構成で議会を運営してい

くこととなり、私たち編集委員も変更になりました。

議会改革特別委員会については、委員の変更はありませんでしたが、紙面でお伝えしたように議会基本条例の素案が出来上がりました。

この中では議員同士で話し合う議員間協議や、政策提言や議会活動の内容を市民に説明する議会報告会など、市民に対する説明責任を果たし、開かれた議会となることを目指した様々な施策が盛り込まれています。また、今年から、議会だよりが全回カラー刷りとなります。編集委員会では、今後とも、魅力的な議会だよりづくりに取り組んでまいりますので、皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

（石井 信重）

※議会報編集委員会※

◎委員長 ○副委員長

◎石井 信重 ○望月 昇

瀬能 孝夫 太田 浩

議会や議会だよりに関することのご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール（番号及びアドレスは表紙参照）でご連絡ください。

平成26年6月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件 名	議 決 結 果
議案第25号	館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承 認 全会一致
議案第26号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承 認 全会一致
議案第27号	館山市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第28号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第29号	財産の無償譲渡について	原案可決 全会一致
議案第30号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決 全会一致
議案第31号	館山市企業立地及び雇用の促進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第32号	工事委託協定の締結について	原案可決 全会一致
議案第33号	平成26年度館山市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 賛成多数
議案第34号	平成26年度館山市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第35号	平成26年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 賛成多数
議案第36号	工事請負契約の締結について	原案可決 全会一致
議案第37号	工事請負契約の締結について	原案可決 全会一致
議案第38号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
議案第39号	館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意 全会一致
発議案第2号	高速道路通行料金の割引制度の拡大を求める意見書について	原案可決 全会一致
発議案第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決 全会一致
発議案第4号	国における平成27年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決 全会一致
発議案第5号	農業委員会委員の推薦について	原案可決 全会一致
請願第10号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採 択 賛成多数
請願第11号	「国における平成27(2015)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採 択 全会一致

平成26年第1回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件 名	議 決 結 果
議案第24号	平成26年度館山市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致

表紙の写真
(認知症サポーター
養成講座)

国の認知症サポーター
キャラバン事業による認知
症サポーター養成講座が市
議会議員を対象に5月26日
に行われました。

この講座の内容は、認知症
の正しい認識、早期診断・治
療の重要性、認知症の人に接
する際の心構え等であり、現
在までに市内で2千人以上
の方が受講しています。

当日は、館山市地域包括支
援センターの職員を講師に、
議員全員が参加し、熱心に講
座の内容に聞き入っていました。

また、終了後は受講の証で
あるオレンジリングを腕に
付け、認知症サポーターと
して認知症の人や家族を見
守っていくことを決意しま
した。

認知症サポーター養成講
座へのお問い合わせは市
役所高齢者福祉課(22-
3487)へお願いします。